



2026年4月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年12月11日

上場会社名 株式会社 柿安本店 上場取引所 東
コード番号 2294 U R L <https://www.kakiyasuhonten.co.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 赤塚 保正
問合せ先責任者 （役職名） 経営管理部長 （氏名） 正木 崇彦 T E L 0594-23-5500
半期報告書提出予定日 2025年12月11日
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年4月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年5月1日～2025年10月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
2026年4月期中間期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期中間期	17,047	1.4	324	△5.3	344	△4.7	176	△0.2

（注）包括利益 2026年4月期中間期 216百万円（58.3%） 2025年4月期中間期 136百万円（△64.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年4月期中間期	円 銭 18.44	円 銭 —
2025年4月期中間期	17.65	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年4月期中間期	百万円 18,257	百万円 14,446	% 79.1
2025年4月期	19,196	15,044	78.4

（参考）自己資本 2026年4月期中間期 14,446百万円 2025年4月期 15,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年4月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 85.00	円 銭 85.00
2026年4月期	—	0.00	—	—	—
2026年4月期（予想）	—	—	—	85.00	85.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年4月期の連結業績予想（2025年5月1日～2026年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 36,400	% 0.8	百万円 1,500	% △0.0	百万円 1,550	% 0.7	百万円 850	% 21.2

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年4月期中間期	12,446,700株	2025年4月期	12,446,700株
2026年4月期中間期	2,868,817株	2025年4月期	2,868,617株
2026年4月期中間期	9,578,011株	2025年4月期中間期	10,024,756株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2025年5月1日～2025年10月31日）におけるわが国経済は、景気が緩やかな回復基調にあるなかで個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大が見られたほか、株高による家計マインドの改善が期待される一方で、長引く物価上昇や米国の通商政策の影響など先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属する食関連業界におきましても、原材料価格の高止まりや労働力不足の深刻化に伴う人件費の上昇が大きな影響を及ぼしております。また、家計の節約志向が依然として根強いなど、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境の中、当社グループはお客様にお喜びいただける高付加価値・高品質な商品やサービスの提供に努めました。また、既存店の収益改善を進めるとともに、人気商品の『牛すき』や『海老マヨネーズ』をおむすび具材とした監修商品を大手コンビニエンスストアより販売したほか、様々な人気アニメーションデザインを施した商品を展開する等、積極的に販路拡大に取り組みました。

出退店につきましては、1店の出店、3店の退店を行いました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は17,047百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は324百万円(同5.3%減)、経常利益は344百万円(同4.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は176百万円(同0.2%減)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(a) 精肉事業

精肉事業につきましては、8月29日の「やきにくの日」には牛肉に加え、牛タンや豚バラ肉等様々な種類のお肉をお得に楽しめる『夏福袋』をご用意しました。また、年末年始に向け予約サイト「ニクヨヤク」での予約に加え、店頭限定で松阪牛や銘柄黒毛和牛等がお買い得となる予約限定商品をご用意する等の商品展開や販売促進に努めました。

出退店につきましては、1店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は6,312百万円(前年同期比0.1%増)、セグメント利益は335百万円(同50.7%増)となりました。

(b) 惣菜事業

惣菜事業につきましては、低カロリーでありながら20種類を超える食材を使った彩り豊かなお弁当『10品目の美彩御膳』や黒毛和牛を使用しトマトで彩った『黒毛和牛そぼろのトマトチャプチエ』等、魅力ある商品を多数取り揃えました。また、明太子のかねふくとのコラボ商品や人気アニメーションデザインのお弁当をご用意する等、販路拡大に積極的に取り組みました。

この結果、当事業の売上高は6,180百万円(前年同期比0.2%減)、セグメント利益は382百万円(同22.4%減)となりました。

(c) 和菓子事業

和菓子事業につきましては、お盆やお月見、ハロウィン等の歳時限定商品や天津甘栗、さつま芋のほかピオーネやマスカットを用いた秋ならではの魅力ある商品を多数ご用意しました。また、歳時以外での来店増加に向けた独自の商品展開も引き続き行っています。

出退店につきましては、「口福堂イオンモール須坂店」を出店、1店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は3,090百万円(前年同期比5.3%増)、セグメント利益は28百万円(同18.1%増)となりました。

(d) レストラン事業

レストラン事業につきましては、グリル業態ではさつま芋や南瓜等の秋野菜をメインとしたサラダバーをご用意する等、季節感にあふれる商品展開を図りました。

出退店につきましては、1店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は700百万円(前年同期比4.3%増)、セグメント利益は4百万円(同71.2%減)となりました。

(e) 食品事業

食品事業につきましては、柿安プレミアムカレーシリーズから高品質な沖縄のブランド豚肉あぐー豚を使用した『沖縄県産豚 あぐーカレー』を新発売しました。また、人気商品の『牛すき』や『海老マヨネーズ』をおむすび具材とした監修商品を大手コンビニエンスストアより販売する等、積極的な販売戦略にも注力いたしました。

この結果、当事業の売上高は763百万円(前年同期比9.2%増)、セグメント利益は43百万円(同23.8%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ939百万円減少し、18,257百万円となりました。

流動資産は844百万円減少し、10,685百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少880百万円及び商品及び製品の増加30百万円等であります。

固定資産は94百万円減少し、7,571百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物の減少69百万円、繰延税金資産の減少57百万円、工具、器具及び備品の減少50百万円及び投資有価証券の増加84百万円等であります。

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ341百万円減少し、3,810百万円となりました。

流動負債は317百万円減少し、3,311百万円となりました。主な要因は、未払金の減少180百万円、未払法人税等の減少110百万円及び支払手形及び買掛金の減少29百万円等であります。

固定負債は23百万円減少し、498百万円となりました。主な要因は、資産除去債務の減少17百万円等であります。

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ597百万円減少し、14,446百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当による減少814百万円及び親会社株主に帰属する中間純利益176百万円の計上による増加等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ880百万円減少(前連結会計年度比11.0%減)し、7,114百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は458百万円(前年同期は482百万円の獲得)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益338百万円に対し非資金損益項目等の調整を加減した営業取引による収入675百万円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額227百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は520百万円(前年同期は2,329百万円の使用)となりました。収入の主な内訳は、差入保証金の回収による収入2百万円等であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出457百万円、差入保証金の差入による支出21百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は818百万円(前年同期は895百万円の使用)となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額811百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期通期の連結業績予想につきましては、2025年6月10日に発表いたしました2025年4月期決算短信[日本基準] (連結)に記載しております予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	7,995	7,114
売掛金	2,502	2,530
商品及び製品	382	413
仕掛品	429	398
原材料及び貯蔵品	163	180
その他	57	49
流动資産合計	11,530	10,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,750	2,681
土地	2,119	2,119
その他（純額）	965	933
有形固定資産合計	5,835	5,733
無形固定資産	182	167
投資その他の資産		
投資有価証券	219	303
繰延税金資産	236	179
差入保証金	671	662
退職給付に係る資産	312	297
その他	207	227
投資その他の資産合計	1,647	1,670
固定資産合計	7,665	7,571
資産合計	19,196	18,257
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	1,278	1,249
未払金	503	322
未払法人税等	315	204
契約負債	10	13
未払費用	913	908
賞与引当金	346	346
役員賞与引当金	10	10
株主優待引当金	46	25
その他	204	230
流动負債合計	3,629	3,311
固定負債		
資産除去債務	424	407
その他	97	91
固定負債合計	522	498
負債合計	4,152	3,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,269	1,269
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	18,438	17,800
自己株式	△5,900	△5,900
株主資本合計	14,893	14,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	113
退職給付に係る調整累計額	94	77
その他の包括利益累計額合計	150	190
純資産合計	15,044	14,446
負債純資産合計	19,196	18,257

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)
売上高	16,808	17,047
売上原価	7,659	7,976
売上総利益	9,148	9,070
販売費及び一般管理費	8,805	8,745
営業利益	343	324
営業外収益		
受取利息	1	8
受取配当金	2	3
その他	15	8
営業外収益合計	19	20
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	361	344
特別損失		
固定資産除売却損	10	1
その他	—	4
特別損失合計	10	5
税金等調整前中間純利益	350	338
法人税、住民税及び事業税	161	123
法人税等調整額	12	38
法人税等合計	173	162
中間純利益	177	176
親会社株主に帰属する中間純利益	177	176

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)
中間純利益	177	176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	57
退職給付に係る調整額	△22	△17
その他の包括利益合計	△40	39
中間包括利益	136	216
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	136	216

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	350	338
減価償却費	301	301
賞与引当金の増減額（△は減少）	△0	0
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△6	—
株主優待引当金の増減額（△は減少）	—	△21
受取利息及び受取配当金	△3	△11
固定資産除売却損益（△は益）	10	1
売上債権の増減額（△は増加）	30	△27
棚卸資産の増減額（△は増加）	15	△16
仕入債務の増減額（△は減少）	△34	△29
未払金の増減額（△は減少）	△36	118
未払消費税等の増減額（△は減少）	△86	20
その他	14	1
小計	555	675
利息及び配当金の受取額	2	10
法人税等の支払額	△75	△227
営業活動によるキャッシュ・フロー	482	458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	600	—
投資有価証券の取得による支出	—	△2
有形固定資産の取得による支出	△486	△457
差入保証金の差入による支出	△25	△21
差入保証金の回収による収入	8	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△2,381	—
その他	△43	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,329	△520
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△7	△7
配当金の支払額	△887	△811
財務活動によるキャッシュ・フロー	△895	△818
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,741	△880
現金及び現金同等物の期首残高	10,108	7,995
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,366	7,114

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子 事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
顧客との契約から生じる収益	6,305	6,193	2,935	671	698	16,805	2	16,808	—	16,808
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	6,305	6,193	2,935	671	698	16,805	2	16,808	—	16,808
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	836	4	18	4	501	1,366	—	1,366	△1,366	—
計	7,142	6,198	2,954	675	1,200	18,171	2	18,174	△1,366	16,808
セグメント利益 又は損失(△)	222	492	24	15	57	812	△0	812	△468	343

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△468百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△479百万円及びその他調整額10百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子 事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
顧客との契約か ら生じる収益	6,312	6,180	3,090	700	763	17,047	—	17,047	—	17,047
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	6,312	6,180	3,090	700	763	17,047	—	17,047	—	17,047
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	960	11	24	4	506	1,508	—	1,508	△1,508	—
計	7,273	6,192	3,114	705	1,269	18,555	—	18,555	△1,508	17,047
セグメント利益	335	382	28	4	43	794	—	794	△469	324

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等であります。

2. セグメント利益の調整額△469百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△492百万円及びその他調整額23百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。